

発行日 : 2019年5月31日
改訂1 : 2019年9月27日
改訂2 : 2019年10月10日



環境経営レポート 2018年度

対象期間: 2018年3月1日～2019年2月28日



共和産業株式会社

Kyowa Sangyo Corp.

目 次

1. 組織の概要	P 1
2. 環境基本理念	P 2
3. 環境経営方針	P 2
4. 実施体制と役割	P 3
5. 環境負荷物質の実績推移(過去3年間)	P 4
6. 環境経営目標	P 5~6
7. 2018年度 環境経営計画	P 7
8. 2018年度 環境経営目標の実績	P 8~11
9. 環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	P12~13
10. 活動事例	P14~18
11. 活動実績のまとめ	P19
12. 環境関連法規等の遵守状況の確認	P20
13. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P21

1. 組織の概要

1. 事業所名及び代表者名

- ・会社名 共和産業株式会社
- ・代表者 代表取締役社長 大井田 良彦(2018年6月就任)
環境管理責任者 廣瀬 誠
- ・所在地 本社・豊田工場 足助工場
〒471-0856 愛知県豊田市衣ヶ原三丁目1番地 〒444-2407 愛知県豊田市桑田和町宮の前34
TEL 0565-32-4651 FAX 0565-32-4773 TEL 0565-62-0185 FAX 0565-62-1185
(敷地面積 9,922㎡) (敷地面積 6,330㎡)



篠原工場
〒470-0352 愛知県豊田市篠原町切山2-24
TEL 0565-48-7600 FAX 0565-48-7601
(敷地面積 324㎡)



2. 事業内容

- ・自動車用サンバイザーの設計・開発・製造、及び自動車用樹脂部品(遮音樹脂部品・補強部品)の設計・開発・製造



遮音樹脂部品・補強部品

3. 事業規模

- ・資本金 4,000万円
- ・従業員数 705名(2019年2月末現在)
- ・生産数 サンバイザー:974万枚/年 KYF:721万個/年
その他樹脂成形部品:2083万個/年(ブラケットカバー等)

4. 対象範囲(認証・登録範囲)

- ①対象組織 : 全事業所(本社・豊田工場、足助工場、篠原工場)
- ②対象範囲 : 事業内容と同じ
- ③レポートの対象期間 : 2018年3月1日～2019年2月28日
- ④レポート発行日 : 2019年5月31日(最終改定日:2019年10月10日)

2. 環境基本理念

私たちは、クリーンで安全な商品の提供を使命とし、研究と開発に努め、持続可能な地球環境への貢献に取り組めます。

3. 環境経営方針

環境基本理念のもと「安全・健康・環境経営方針」を策定し、環境活動に取り組んでいます。

安全・健康・環境経営方針



改訂日 2017年3月1日
共和産業株式会社

◇スローガン：「安全・健康はすべてに優先・企業活力の源」 「持続可能な社会」の実現に向けた環境経営の推進		
方針・実施事項	主管	関連部署
安全・健康 I. 「安全第一」「安全・健康はすべての土台」の企業文化、風土構築 目 標：「労災ゼロ」、「業務上疾病ゼロ」、「通災ゼロ」、「交通事故ゼロ」 II. テータヘルスに基づく心と身体 [※] の健康づくり 目 標：①健康診断結果 会社総合評価「C」ランク以上 ②従業員一人ひとりの健康レベル1ランクアップ 指標：BMI、血圧、糖代謝、脂質異常、禁煙 等 III. 安全で快適な職場の形成 目 標：格差のない職場環境の実現 IV. 安全・健康活動をリードする人財の育成と一人ひとりの安全意識、健康意識の向上 目 標：安全・健康教育の仕組みづくりと教育の継続実施	人総部	全部署
環境 V. 環境マネジメントシステムの構築 目 標：サプライチェーン全体での環境マネジメント体制の構築と運用開始 VI. 規制化学物質の使用量削減、廃止と化学物質全社管理体制の強化 目 標：①国内外関連法令の遵守と日常管理の徹底 ②化学物質全社管理状況の見える化と改善 VII. 環境貢献型、環境配慮型技術、製品、設備の開発 目 標：①省資源設計の推進 ②省エネルギー製品・設備の開発、号口化 VIII. 環境マネジメントシステム(エコアクション21)の活用による積極的、継続的な改善の推進 目 標：①環境関連法規制、愛知県条例、豊田市条例の遵守 ②製品ライフサイクルでの環境負荷低減活動の継続的な推進 指標：CO2排出量、総排水量、廃棄物排出量  IX. 環境活動をリードする人財の育成と一人ひとりの環境意識の向上 目 標：環境教育の仕組みづくりと教育の継続実施	調達室 設計部 開発部 生技部 人総部	全部署

4. 実施体制と役割

1. 実施体制

《代表者》

代表取締役社長 森下 勇夫

《エコアクション21 責任者》

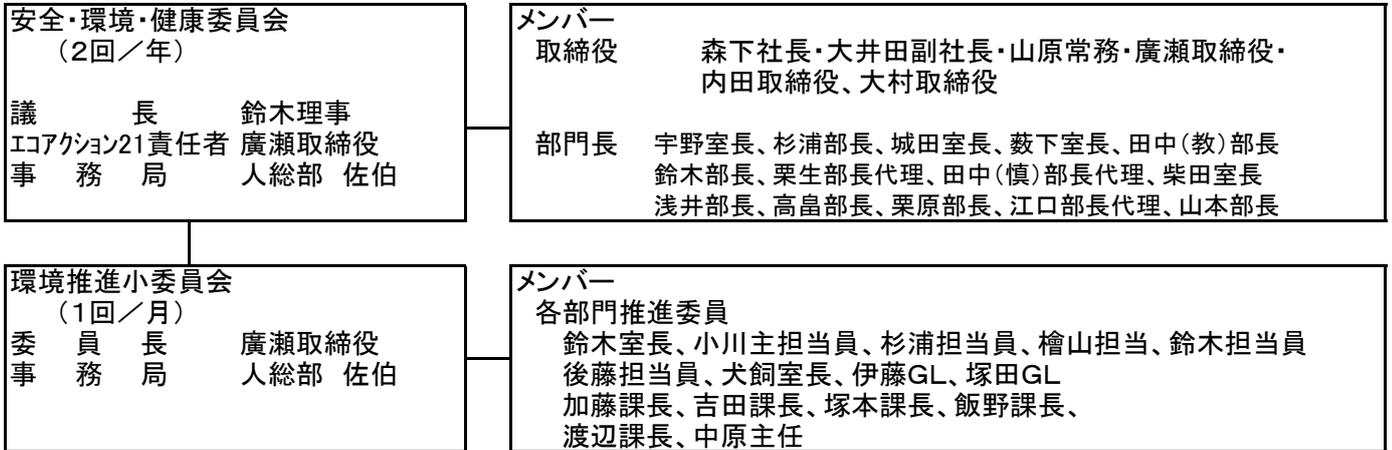
取締役 廣瀬 誠

《部門環境管理責任者》

各部門長

《推進組織・体制》

2018年3月1日付



2. 役割・責任

	役割・責任
代表者	(1)取り組み対象組織の決定、環境経営方針の策定、環境管理責任者の任命、 資源(人員・設備・費用等)の準備、代表者による全体の評価と見直し・指示
エコアクション 責任者	(1)代表者に代わり、代表者の役割・責任を代行し、報告する
安全環境健康 委員会	(1)推進体制・組織の構築とその役割・責任の明確化
	(2)環境経営システム(仕組み)の構築、運用、維持
	(3)環境・グリーン活動年度計画立案、推進状況の把握(※1)、対策、改善、定着化と報告 ※1 環境経営目標、環境関連法規遵守状況、外部からの環境に関する苦情、要望、賞賛
	(4)問題点の是正、予防処置
	(5)環境教育の実施
	(6)すべての活動結果の記録
	(7)環境経営レポートの作成
	(8)委員会、小委員会情報の自部門への展開
事務局	(1)委員会(2回/年)、小委員会(1回/月)の開催、運営
	(2)委員会、小委員会での環境関連情報の展開
	(3)環境活動レポート等環境関連文書の保管と管理および全社共有化
部門長	(1)自部門の環境活動の目標達成の責任を持つ
各部門推進委員	(1)自部門の環境活動状況のまとめ、報告、記録の保管、管理
全従業員	(1)環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画を理解と環境負荷低減活動の実行と継続

5. 環境負荷物質の実績推移

1. 過去の二酸化炭素排出量、廃棄物排出量(4年間)

対象品目		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
二酸化炭素 排出量 (kg-CO2)	電力、灯油、ガソリン、 LPG	1,911,730	1,941,342	1,913,057	2,155,791
廃棄物 排出量 (kg)	一般廃棄物	リサイクル	110,410	95,875	140,395
		中間処理	8,940	9,699	5,726
	産業廃棄物	リサイクル	124,456	134,299	121,642
		中間処理	176,460	170,650	229,520
		420,266	410,523	497,283	533,523

(購入電力) 本社豊田…中部電力 平成29年度調整後排出係数 0.472kg-CO2/kWh
 足助…テブコカスタマーサービス 平成29年度調整後排出係数 0.596kg-CO2/kWh
 篠原…テブコカスタマーサービス 平成29年度調整後排出係数 0.596kg-CO2/kWh

2. 二酸化炭素排出量の詳細(2018年度)

		排出量(kg)	占有率
購入電力		2,048,219	95.0%
化石燃料	灯油	37,823	1.8%
	ガソリン	69,559	3.2%
	LPG	190	0.0%
合計		2,155,791	100.0%

<重点課題>

購入電力が95%を占める
 ⇒ 電気使用量削減を推進

3. 廃棄物排出量の詳細(2018年度)

		排出量(kg)		占有率	
		リサイクル	中間処理		
一般	紙類	121,940	0	22.9%	
	ダンボール	113,570	0	21.3%	
	紙管	5,430	0	1.0%	
	ざつ紙	2,210	0	0.4%	
	上質紙	730	0	0.1%	
一般ごみ		0	17,001	3.2%	
小計		121,940	17,001	26.0%	
産業廃棄物	サーマル・PE・FAB	0	170,290	31.9%	
	リサイクル樹脂	PVC	90,638	0	17.0%
		PVC	75,418	0	14.1%
		PP(シェル本体)	10,595	0	2.0%
		PP(シェル以外)	2,250	0	0.4%
		ABS	2,295	0	0.4%
	POM	80	0	0.0%	
	鉄くず・グリス缶	28,630	0	5.4%	
	埋立	0	27,490	5.2%	
	ウレタン類	0	28,680	5.4%	
	混合廃棄物	0	19,680	3.7%	
	木くず	0	26,080	4.9%	
	廃油	700	1,944	0.5%	
アルミ	310	0	0.1%		
真鍮	140	0	0.0%		
小計		120,418	274,164	74.0%	
合計		533,523		100.0%	

<紙類>

全体の23%を占め、なかでも
 ダンボールが21%と殆どである
 ⇒ 分別の徹底による資源ごみ化の推進

<PVC>

全体の14%を占める
 ⇒ 更なる歩留向上活動の推進と
 分別の徹底による資源ごみ化推進

<サーマル・PE・FAB(ファブリック)>

全体の32%を占める
 なかでもFABが大半を占める
 ⇒ 更なる歩留向上活動の推進

<埋立・ウレタン類・混合廃棄物>

前年よりすべて増加
 ⇒ 分別の徹底による廃棄物の削減を推進

<木くず>

全体の5.0%を占める
 輸入梱包用木箱が占める
 ⇒ 輸入品の簡易梱包化検討などの
 使用量低減活動の推進

6. 環境経営目標(全社 / 本社・豊田工場)

- ①環境負荷の低減目標 : 2020年度までに基準年度比(2014年度) -10%
- ②工程内不良率の低減目標 : 0.03%以下(全社)
- ③化学物質管理 : 環境法規遵守率100%

(購入電力) 本社豊田・・・中部電力 平成29年度調整後排出係数 0.472kg-CO2/kWh
 足助・・・テブコカスタマーサービス 平成29年度調整後排出係数 0.596kg-CO2/kWh
 篠原・・・テブコカスタマーサービス 平成29年度調整後排出係数 0.596kg-CO2/kWh

<基準年度 生産実績枚数>

工場別・品目別生産数	単位	2014年度 2014年3月～2015年2月
全社生産数	個	22,551,892
豊田工場生産数(サンバイザー)	個	6,448,847

項目	取り組み項目	単位		全社								本社・豊田工場							
				年間の削減目標 (年度は3月～翌年2月)								年間の削減目標 (年度は3月～翌年2月)							
				2014年度 基準年度	2015年度 1%削減	2016年度 2%削減	2017年度 3%削減	2018年度 4%削減	2019年度 7%削減	2020年度 10%削減	2014年度 基準年度	2015年度 1%削減	2016年度 2%削減	2017年度 3%削減	2018年度 4%削減	2019年度 7%削減	2020年度 10%削減		
(1)二酸化炭素 排出量	総量	kg-CO2	1,911,733	1,892,616	1,873,498	1,854,381	1,835,264	1,777,912	1,720,560	1,400,382	1,386,378	1,372,374	1,358,371	1,344,367	1,302,355	1,260,344			
		製品1個当り	kg-CO2/個	0.085	0.084	0.083	0.082	0.081	0.079	0.076	0.217	0.215	0.213	0.211	0.208	0.202	0.195		
	①購入電力 使用量低減	総量	kWh	3,467,073	3,432,402	3,397,732	3,363,061	3,328,390	3,224,378	3,120,366	2,738,493	2,711,108	2,683,723	2,656,338	2,628,953	2,546,798	2,464,644		
		製品1個当り	kWh/個	0.154	0.152	0.151	0.149	0.148	0.143	0.138	0.425	0.420	0.416	0.412	0.408	0.395	0.382		
	②灯油 使用量低減	総量	L	39,506	39,111	38,716	38,321	37,926	36,741	35,555	25,766	25,508	25,251	24,993	24,735	23,962	23,189		
		製品1個当り	ml/個	1.752	1.734	1.717	1.699	1.682	1.629	1.577	3.995	3.955	3.916	3.876	3.836	3.716	3.596		
	③ガソリン 使用量低減	総量	L	33,096	32,765	32,435	32,104	31,773	30,780	29,787	30,091	29,791	29,490	29,189	28,888	27,985	27,082		
		製品1個当り	ml/個	1.468	1.453	1.438	1.424	1.409	1.365	1.321	4.666	4.495	4.470	4.445	4.480	4.340	4.200		
④LPG 使用量低減	総量	kg	882	874	865	856	847	821	794	125	123	122	121	120	116	112			
	製品1個当り	g/個	0.039	0.039	0.038	0.038	0.038	0.036	0.035	0.019	0.019	0.019	0.019	0.019	0.018	0.017			
(2)廃棄物排出量 (中間処理)	総量	t	214	212	209	207	205	199	192	168	167	165	163	161	156	151			
		製品1個当り	kg/個	0.009	0.009	0.009	0.009	0.009	0.009	0.009	0.009	0.026	0.026	0.026	0.025	0.024	0.023		
	①サーマル・PE・FAB 排出量低減	総量	t	127	126	125	124	122	119	115	87	86	86	85	84	81	79		
		製品1個当り	kg/個	0.006	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.014	0.013	0.013	0.013	0.013	0.013	0.012		
	②埋立ごみ 排出量低減	総量	t	15	15	15	15	15	14	14	15	15	14	14	14	14	13		
		製品1個当り	kg/個	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002		
	③ウレタン・粉砕樹脂 排出量低減	総量	t	13	12	12	12	12	12	11	13	12	12	12	12	12	11		
		製品1個当り	kg/個	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002		
	④混合廃棄物 排出量低減	総量	t	8	8	8	8	7	7	7	4	4	4	4	4	4	4		
		製品1個当り	kg/個	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
	⑤一般ごみ 排出量低減	総量	t	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8		
		製品1個当り	kg/個	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
⑥木くず 排出量低減	総量	t	42	42	42	41	41	39	38	41	41	40	40	40	38	37			
	製品1個当り	kg/個	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006			
(3)水使用量	総量	t	12,494	12,369	12,244	12,119	11,994	11,619	11,245	11,013	10,903	10,793	10,683	10,572	10,242	9,912			
		製品1個当り	kg/個	0.554	0.548	0.543	0.537	0.532	0.515	0.499	1.708	1.691	1.674	1.657	1.639	1.588	1.537		
	①上水 使用量低減	総量	t	2,398	2,374	2,350	2,326	2,302	2,230	2,158	917	908	899	889	880	853	825		
		製品1個当り	kg/個	0.106	0.105	0.104	0.103	0.102	0.099	0.096	0.142	0.141	0.139	0.138	0.137	0.132	0.128		
②工業用水 使用量低減	総量	t	10,096	9,995	9,894	9,793	9,692	9,389	9,086	10,096	9,995	9,894	9,793	9,692	9,389	9,086			
	製品1個当り	kg/個	0.448	0.443	0.439	0.434	0.430	0.416	0.403	1.566	1.550	1.534	1.519	1.503	1.456	1.409			
(4)製品に関する 項目	①製品不良の削減 (工程内不良低減)	%	工程内不良率 0.039%	0.036% 2014年度比 -0.003%	0.033% 2014年度比 -0.006%	0.030% 2014年度比 -0.009%	0.029% 2014年度比 -0.010%	0.028% 2014年度比 -0.011%	0.027% 2014年度比 -0.012%	工程内不良率 0.053%	0.048% 2014年度比 -0.005%	0.043% 2014年度比 -0.010%	0.038% 2014年度比 -0.015%	0.038% 2014年度比 -0.015%	0.038% 2014年度比 -0.015%	0.038% 2014年度比 -0.015%			
(5)化学物質の 使用量削減	①環境負荷物質の 適正管理	%	法規遵守 100%	法規遵守 100%	法規遵守 100%	法規遵守 100%	法規遵守 100%	法規遵守 100%	法規遵守 100%	法規遵守 100%	法規遵守 100%	法規遵守 100%	法規遵守 100%	法規遵守 100%	法規遵守 100%	法規遵守 100%			

6. 環境経営目標(足助工場 / 篠原工場)

<基準年度 生産実績枚数・個数>

工場別・品目別生産数	単位	2014年度 2014年3月～2015年2月
足助工場生産数(サンバイザー)	枚	1,687,752
篠原工場生産数(KCF)	個	14,415,293

(購入電力) 本社豊田・・・中部電力 平成29年度調整後排出係数 0.472kg-CO2/kWh
 足助・・・テブコカスターサービス 平成29年度調整後排出係数 0.596kg-CO2/kWh
 篠原・・・テブコカスターサービス 平成29年度調整後排出係数 0.596kg-CO2/kWh

低減目標 : 2020年までに2014年度比 -10%

項目	取り組み項目	単位		足助工場							篠原工場						
				年間の削減目標							年間の削減目標						
				(年度は3月～翌年2月)							(年度は3月～翌年2月)						
2014年度 基準年度	2015年度 1%削減	2016年度 2%削減	2017年度 3%削減	2018年度 4%削減	2019年度 7%削減	2020年度 10%削減	2014年度 基準年度	2015年度 1%削減	2016年度 2%削減	2017年度 3%削減	2018年度 4%削減	2019年度 7%削減	2020年度 10%削減				
(1)二酸化炭素 排出量	総量	kg-CO2	242,406	239,982	237,558	235,134	232,710	225,438	218,165	268,945	266,256	263,566	260,877	258,187	250,119	242,051	
		製品1個当り	kg-CO2/個	0.144	0.142	0.141	0.139	0.138	0.134	0.129	0.019	0.018	0.018	0.018	0.018	0.017	0.017
	①購入電力 使用量低減	総量	kWh	342,686	339,259	335,832	332,405	328,979	318,698	308,417	442,314	437,891	433,468	429,045	424,621	411,352	398,083
		製品1個当り	kWh/個	0.203	0.201	0.199	0.197	0.195	0.189	0.183	0.031	0.030	0.030	0.030	0.029	0.029	0.028
	②灯油 使用量低減	総量	L	13,740	13,603	13,465	13,328	13,190	12,778	12,366	0	0	0	0	0	0	0
		製品1個当り	ml/個	8.141	8.060	7.978	7.897	7.815	7.571	7.327	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	③ガソリン 使用量低減	総量	L	1,634	1,618	1,601	1,585	1,569	1,520	1,471	1,371	1,357	1,343	1,330	1,316	1,275	1,234
		製品1個当り	ml/個	0.968	0.959	0.949	0.939	0.929	0.900	0.871	0.095	0.094	0.093	0.092	0.091	0.088	0.086
④LPG 使用量低減	総量	kg	44	43	43	43	42	41	39	714	707	700	693	685	664	643	
	製品1個当り	g/個	0.026	0.026	0.025	0.025	0.025	0.024	0.023	0.050	0.049	0.049	0.048	0.048	0.046	0.045	
(2)廃棄物排出量 (中間処理)	①サーマル・PE・FAB 排出量低減	総量	t	23	23	23	22	22	21	21	22	22	22	22	21	20	
		製品1個当り	kg/個	0.014	0.014	0.013	0.013	0.013	0.013	0.012	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001
	②埋立ごみ 排出量低減	総量	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		製品1個当り	kg/個	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	③ウレタン・粉砕樹脂 排出量低減	総量	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		製品1個当り	kg/個	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	④混合廃棄物 排出量低減	総量	t	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		製品1個当り	kg/個	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑤一般ごみ 排出量低減	総量	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		製品1個当り	kg/個	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥木くず 排出量低減	総量	t	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	
		製品1個当り	kg/個	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
(3)水使用量	総量	t	869	860	852	843	834	808	782	612	606	600	594	588	569	551	
		製品1個当り	kg/個	0.515	0.510	0.505	0.499	0.494	0.479	0.463	0.042	0.042	0.042	0.041	0.041	0.039	0.038
	①上水 使用量低減	総量	t	869	860	852	843	834	808	782	612	606	600	594	588	569	551
		製品1個当り	kg/個	0.515	0.510	0.505	0.499	0.494	0.479	0.463	0.042	0.042	0.042	0.041	0.041	0.039	0.038
②工業用水 使用量低減	総量	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	製品1個当り	kg/個	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
(4)製品に関する 項目	①製品不良の削減 (工程内不良低減)	%	工程内不良率 0.047%	0.042% 2014年度比 -0.005%	0.037% 2014年度比 -0.010%	0.032% 2014年度比 -0.015%	0.032% 2014年度比 -0.015%	0.032% 2014年度比 -0.015%	0.032% 2014年度比 -0.015%	工程内不良率 0.003%	0.003% 2014年度比 ±0.000%	0.002% 2014年度比 -0.001%	0.002% 2014年度比 -0.001%	0.001% 2014年度比 -0.002%	0.001% 2014年度比 -0.002%	0.001% 2014年度比 -0.002%	

7. 2018年度 環境経営計画

項目	取り組み項目	全社		本社・豊田工場		足助工場		篠原工場	
		主な活動内容	対応部署	主な活動内容	対応部署	主な活動内容	対応部署	主な活動内容	対応部署
(1)二酸化炭素 排出量		1)購入電力低減 2)化石燃料の使用量低減	全部署 人総部	1)購入電力低減 2)化石燃料の使用量低減	全部署 人総部	1)購入電力低減 2)化石燃料の使用量低減	全部署 人総部	1)購入電力低減 2)化石燃料の使用量低減	全部署 人総部
	①購入電力 使用量低減	1)夏季・冬季特別節電活動の実施 2)PC・照明等の節電	全部署 ↑	1)変電設備の更新による効率的な電力利用 2)成形機の更新による 3)組付けライン、成形機の生産性向上	生技部 全部署	1)パーテーション設置による冷暖房効率向上検討 2)組付けライン、成形機生産性向上	人総部 全部署	1)製品加工方法の改善	生技部
	②灯油 使用量低減	1)脱化石燃料化の推進	人総部	1)エアコン導入による灯油使用量削減	人総部 製造部	1)エアコン導入による灯油使用量削減検討	人総部 製造部	—	—
	③ガソリン 使用量低減	1)アイドリングストップの啓蒙 2)エコ運転の実践	人総部・工務課 人総部	1)アイドリングストップの啓蒙 2)低燃費社有車への入替と積極的な活用	人総部・工務課 人総部・全部署	1)アイドリングストップの啓蒙	人総部	1)アイドリングストップの啓蒙	人総部 工務課
	④LPG 使用量低減	1)脱化石燃料化の推進	人総部	1)評価設備の適正使用 2)不要な備品の撤去(ガスコンロ) 3)給湯器の適正使用	技術部	1)給湯器の適正使用	製造部 工務課	1)製品評価方法の変更(ボイラー廃止)	製造部
(2)廃棄物排出量 (中間処理)		廃棄物分別活動のレベルアップ検討	人総部	工程内不良率の低減		工程内不良率の低減			
	①サーマル・PE・FAB 排出量低減	1)工程内不良率の低減 2)表皮歩留りの向上 3)事務用品の再利用、紙資料の削減 4)廃棄物分別の継続推進	製造部 生技部 全部署 ↑	1)梱包用ラップ・紐の削減 2)産廃、サーマル用成形品のリサイクル 3)ムダな評価用製品の製作禁止	製造部 生管部 生技部 技術部	1)梱包用ラップ・紐の削減 2)産廃、サーマル用成形品のリサイクル	生管部 生技部	1)廃棄物分別の強化 2)KCF産廃樹脂のリサイクル	製造部・生管部 生技部
	②埋立ごみ 排出量低減	1)工程内不良率の低減 2)事務用品の再利用、紙資料の削減 3)廃棄物分別の継続推進	製造部 全部署 ↑	1)ムダな評価用製品の製作禁止	技術部	1)廃棄物分別の強化	製造部 生管部	1)廃棄物分別の強化	製造部 生管部
	③ウレタン・粉砕樹 脂 排出量低減	1)工程内不良率の低減 2)廃棄物分別の継続推進	製造部 全部署	1)ムダな評価用製品の製作禁止	技術部	1)廃棄物分別の強化	製造部 生管部	1)廃棄物分別の強化	製造部 生管部
	④混合廃棄物 排出量低減	1)工程内不良率の低減 2)事務用品の再利用、紙資料の削減 3)廃棄物分別の継続推進	製造部 全部署 ↑	1)工程内不良低減活動の継続推進 2)ムダな評価用製品の製作禁止	製造部 技術部	1)廃棄物分別の強化	製造部 生管部	1)廃棄物分別の強化 2)KCF産廃樹脂のリサイクル	製造部・生管部 生技部
	⑤一般ごみ 排出量低減	1)事務用品の再利用、紙資料の削減 2)廃棄物分別の継続推進	全部署 ↑	1)私物ごみの持ち帰り徹底	全部署	1)廃棄物分別の強化 2)私物ごみの持ち帰り徹底	製造部・生管部 全部署	1)廃棄物分別の強化 2)私物ごみの持ち帰り徹底	製造部・生管部 全部署
	⑥木くず 排出量低減	1)廃棄物分別の継続推進	全部署	1)パレットの樹脂化推進	生管部	1)パレットの樹脂化推進	生管部	排出なし	—
(3)排水量	①上水 使用量低減	1)水道の適切な使用(啓蒙活動)	人総部	1)水道の適切な使用	全部署	1)水道の適切な使用	全部署	1)水道の適切な使用	全部署
	②工業用水 使用量低減	1)豊田工場での使用(豊田工場対策)	—	1)工業用水使用低減のハード対策	人総部 生技部	—	—	—	—
(4)製品に関する 項目	①製品不良の削減 (工程内不良低 減)	①朝市、夕市活動の継続 ②1日1ライン点検による未然防止活動 ③監査改良会議、困り事対策会議 による慢性不具合撲滅活動							製造部・品証部 技術部・生技部
(5)化学物質の 使用量削減	①環境負荷物質の 適正管理	開発16車種のSOC関連法規の遵守							技術部

8. 2018年度 環境経営目標の実績

(購入電力) 本社豊田…中部電力 平成29年度調整後排出係数 0.472kg-CO2/kWh
 足助…テブコカスタマーサービス 平成29年度調整後排出係数 0.596kg-CO2/kWh
 篠原…テブコカスタマーサービス 平成29年度調整後排出係数 0.596kg-CO2/kWh

1. 全社 環境経営目標の実績

(※表中の各数値については表示値以下の計算数値を持っています。)

全社総生産数 37,782,311個

○ : ≥100
 × : <100

項目	取り組み項目	単位		削減目標			評価
				2018年度 目標	2018年度 実績	目標達成率	
(1)二酸化炭素 排出量		総量	kg-CO2	1,835,264	2,155,791	85%	×
		製品1個当り	kg-CO2/個	0.081	0.057	143%	○
	①購入電力 使用量低減	総量	kWh	3,328,390	4,092,303	81%	×
		製品1個当り	kWh/個	0.148	0.108	136%	○
	②灯油 使用量低減	総量	L	37,926	15,190	250%	○
		製品1個当り	ml/個	1.682	0.402	418%	○
	③ガソリン 使用量低減	総量	L	31,773	29,982	106%	○
		製品1個当り	ml/個	1.409	0.794	178%	○
	④LPG 使用量低減	総量	kg	847	63	1338%	○
		製品1個当り	g/個	0.038	0.002	2242%	○
(2)廃棄物排出量 (中間処理)		総量	t	205	274	75%	×
		製品1個当り	kg/個	0.009	0.007	125%	○
	①サーマル・PE・FAB 排出量低減	総量	t	122	170	72%	×
		製品1個当り	kg/個	0.005	0.005	120%	○
	②埋立ごみ 排出量低減	総量	t	15	27	53%	×
		製品1個当り	kg/個	0.001	0.001	88%	×
	③ウレタン・粉砕樹脂 排出量低減	総量	t	12	29	42%	×
		製品1個当り	kg/個	0.001	0.001	70%	×
	④混合廃棄物 排出量低減	総量	t	7	20	38%	×
		製品1個当り	kg/個	0.000	0.001	63%	×
	⑤一般ごみ 排出量低減	総量	t	8	2	360%	○
		製品1個当り	kg/個	0.000	0.000	604%	○
⑥木くず 排出量低減	総量	t	41	26	158%	○	
	製品1個当り	kg/個	0.002	0.001	261%	○	
(3)排水量		総量	t	11,994	9,986	120%	○
		製品1個当り	kg/個	0.532	0.264	201%	○
	①上水 使用量低減	総量	t	2,302	3,964	58%	×
		製品1個当り	kg/個	0.102	0.105	97%	×
②工業用水 使用量低減	総量	t	9,692	6,022	161%	○	
	製品1個当り	kg/個	0.430	0.159	270%	○	
(4)製品に関する 項目	①製品不良の削減 (工程内不良低減)	%		0.029%	0.065%	45%	×
(5)化学物質の 使用量削減	①環境負荷物質の 適正管理	豊田:10車型 足助3車型 %		開発13車型 100%	開発13車型 100%	100%	○

(購入電力: 中部電力 平成29年度調整後排出係数0.472kg-CO2/kWh)

2. 本社・豊田工場 環境経営目標の実績

○ : ≥ 100

× : < 100

(※表中の各数値については表示値以下の計算数値を持っています。)

本社工場総生産数 7,902,936個

項目	取り組み項目	単位		削減目標			評価
				2018年度 目標	2018年度 実績	目標達成率	
(1)二酸化炭素 排出量		総量	kg-CO2	1,344,367	1,487,536	90%	×
		製品1個当り	kg-CO2/個	0.208	0.188	111%	○
	①購入電力 使用量低減	総量	kWh	2,628,953	3,151,560	83%	×
		製品1個当り	kWh/個	0.408	0.399	102%	○
	②灯油 使用量低減	総量	L	24,735	3,228	766%	○
		製品1個当り	ml/個	3.836	0.408	939%	○
	③ガソリン 使用量低減	総量	L	28,888	27,441	105%	○
		製品1個当り	ml/個	4.480	3.472	129%	○
	④LPG 使用量低減	総量	kg	120	31	386%	○
		製品1個当り	g/個	0.019	0.004	473%	○
(2)廃棄物排出量 (中間処理)		総量	t	161	224	72%	×
		製品1個当り	kg/個	0.025	0.028	88%	×
	①サーマル・PE・FAB 排出量低減	総量	t	84	133	63%	×
		製品1個当り	kg/個	0.013	0.017	77%	×
	②埋立ごみ 排出量低減	総量	t	14	27	51%	×
		製品1個当り	kg/個	0.002	0.003	63%	×
	③ウレタン・粉砕樹脂 排出量低減	総量	t	12	28	43%	×
		製品1個当り	kg/個	0.002	0.004	53%	×
	④混合廃棄物 排出量低減	総量	t	4	8	50%	×
		製品1個当り	kg/個	0.001	0.001	61%	×
	⑤一般ごみ 排出量低減	総量	t	8	2	360%	○
		製品1個当り	kg/個	0.001	0.000	442%	○
⑥木くず 排出量低減	総量	t	40	26	152%	○	
	製品1個当り	kg/個	0.006	0.003	186%	○	
(3)排水量		総量	t	10,572	8,749	121%	○
		製品1個当り	kg/個	1.639	1.107	148%	○
	①上水 使用量低減	総量	t	880	2,727	32%	×
		製品1個当り	kg/個	0.137	0.345	40%	×
	②工業用水 使用量低減	総量	t	9,692	6,022	161%	○
		製品1個当り	kg/個	1.503	0.762	197%	○
(4)製品に関する 項目	①製品不良の削減 (工程内不良低減)	%		0.038%	0.043%	88%	×

3. 足助工場 環境経営目標の実績

(※表中の各数値については表示値以下の計算数値を持っています。)

足助工場総生産数 1,839,765個

○ : ≥100

× : <100

項目	取り組み項目	単位		削減目標			評価
				2018年度 目標	2018年度 実績	目標達成率	
(1)二酸化炭素 排出量		総量	kg-CO2	232,710	272,450	85%	×
		製品1個当り	kg-CO2/個	0.138	0.148	93%	×
	①購入電力 使用量低減	総量	kWh	328,979	401,023	82%	×
		製品1個当り	kWh/個	0.195	0.218	89%	×
	②灯油 使用量低減	総量	L	13,190	11,962	110%	○
		製品1個当り	ml/個	7.815	6.502	120%	○
	③ガソリン 使用量低減	総量	L	1,569	1,556	101%	○
		製品1個当り	ml/個	0.929	0.846	110%	○
	④LPG 使用量低減	総量	kg	42	15	283%	○
		製品1個当り	g/個	0.025	0.008	309%	○
(2)廃棄物排出量 (中間処理)		総量	t	22	31	72%	×
		製品1個当り	kg/個	0.013	0.017	78%	×
	①サーマル・PE・FAB 排出量低減	総量	t	19	20	95%	×
		製品1個当り	kg/個	0.011	0.011	103%	○
	②埋ごみ 排出量低減	総量	t	0.4	0.3	142%	○
		製品1個当り	kg/個	0.0002	0.0001	155%	○
	③ウレタン・粉砕樹脂 排出量低減	総量	t	0	0	—	—
		製品1個当り	kg/個	0.000	0	—	—
	④混合廃棄物 排出量低減	総量	t	2	10	16%	×
		製品1個当り	kg/個	0.001	0.006	17%	×
⑤一般ごみ 排出量低減	総量	t	0	0	—	—	
	製品1個当り	kg/個	0.000	0.000	—	—	
⑥木くず 排出量低減	総量	t	1	0	0%	○	
	製品1個当り	kg/個	0.001	0.000	0%	○	
(3)排水量		総量	t	843	820	103%	○
		製品1個当り	kg/個	0.494	0.446	111%	○
	①上水 使用量低減	総量	t	843	820	103%	○
		製品1個当り	kg/個	0.494	0.446	111%	○
②工業用水 使用量低減	総量	t	0	0	—	—	
	製品1個当り	kg/個	0.000	0	—	—	
(4)製品に関する 項目	①製品不良の削減 (工程内不良低減)	%		0.032%	0.113%	28%	×

4. 篠原工場 環境経営目標の実績

(※表中の各数値については表示値以下の計算数値を持っています。)

篠原工場総生産数 28,039,610個

○ : ≥100

× : <100

項目	取り組み項目	単位		削減目標			評価
				2018年度 目標	2018年度 実績	目標達成率	
(1)二酸化炭素 排出量		総量	kg-CO2	258,187	324,012	80%	×
		製品1個当り	kg-CO2/個	0.018	0.012	155%	○
	①購入電力 使用量低減	総量	kWh	424,621	539,720	79%	×
		製品1個当り	kWh/個	0.029	0.019	153%	○
	②灯油 使用量低減	総量	L	0	0	—	—
		製品1個当り	ml/個	0.000	0.000	—	—
	③ガソリン 使用量低減	総量	L	1,316	986	134%	○
		製品1個当り	ml/個	0.091	0.035	260%	○
	④LPG 使用量低減	総量	kg	685	17	3939%	○
		製品1個当り	g/個	0.048	0.001	7662%	○
(2)廃棄物排出量 (中間処理)		総量	t	21	20	106%	○
		製品1個当り	kg/個	0.001	0.001	206%	○
	①サーマル・PE・FAB 排出量低減	総量	t	19	18	111%	○
		製品1個当り	kg/個	0.001	0.001	216%	○
	②埋立ごみ 排出量低減	総量	t	0	0	—	—
		製品1個当り	kg/個	0.000	0.000	—	—
	③ウレタン・粉砕樹脂 排出量低減	総量	t	0	1	—	—
		製品1個当り	kg/個	0.000	0.000	—	—
	④混合廃棄物 排出量低減	総量	t	2	2	115%	○
		製品1個当り	kg/個	0.000	0.000	224%	○
	⑤一般ごみ 排出量低減	総量	t	0	0	—	—
		製品1個当り	kg/個	0.000	0.000	—	—
⑥木くず 排出量低減	総量	t	0	0	—	—	
	製品1個当り	kg/個	0.000	0.000	—	—	
(3)排水量		総量	t	588	417	141%	○
		製品1個当り	kg/個	0.041	0.015	274%	○
	①上水 使用量低減	総量	t	588	417	141%	○
		製品1個当り	kg/個	0.041	0.015	274%	○
	②工業用水 使用量低減	総量	t	0	0	—	—
		製品1個当り	kg/個	0.000	0	—	—
(4)製品に関する 項目	①製品不良の削減 (工程内不良低減)	%		0.001%	0.002%	50%	×

8. 2018年度 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容（全社、本社・豊田工場）

項目	全社		本社・豊田工場		
	取組結果と評価	次年度の取組内容	取組結果と評価	次年度の取組内容	
(1)二酸化炭素 排出量		<<主な取組結果>> (1)電力低減活動(啓蒙活動)の推進 (2)脱化石燃料化の推進 (3)社有車のエコカーへ切り替えによるガソリン使用量の低減 <<評価>> ・水害応援生産による稼働時間増加により、総量は増加したが、生産数の増加により個あたりの排出量は目標を達成した。	・購入電力低減活動の強化 ・節電型設備の導入推進 ・灯油使用設備廃止の継続推進 (1)アイドリングストップの啓蒙活動継続 (2)低燃費運転の従業員定着化検討 ・LPG使用設備廃止の継続推進	<<主な取組結果>> (1)購入電力の低減 ①老朽化設備の更新(コンプレッサー、エアコン、照明器具) ②電力低減活動(啓蒙活動)の推進 (2)脱化石燃料化の推進 ①LPG湯沸し器→電気温水器へ変更 ②灯油使用ジェットヒーター→電気ヒーター、エアコンへ変更 <<評価>> ・水害応援生産による稼働時間増加により、総量は増加したが、生産数の増加により個あたりの排出量は目標を達成した。	・購入電力低減活動の強化 ・節電型設備の導入推進 ・灯油使用設備廃止の継続推進 (1)アイドリングストップの啓蒙活動継続 (2)低燃費運転の従業員定着化検討 ・LPG使用設備廃止の継続推進
	①購入電力 使用量低減				
	②灯油 使用量低減				
	③ガソリン 使用量低減				
(2)廃棄物排出量 (中間処理)		<<主な取組結果>> (1)工程内不良低減活動の推進 (2)流出不良撲滅会議の開催 (3)廃棄物分別活動による中間処理廃棄物のリサイクル化 <<評価>> ・全体的に総排出量が増加した。真備水害応援による、ライン立上げトライ品や工程内不良品によるものの影響が大きい。 次年度以降、環境負荷低減を考慮し、埋立、混合廃棄物の排出量低減に取り組む。	・埋立、混合廃棄物の排出量削減 (1)中間処理ごみもリサイクル化検討 (2)内訳を把握する仕組みづくり (1)発生源の対策推進 (2)工程内不良低減活動の継続推進 (1)発生源の対策推進 (2)工程内不良低減活動の継続推進 (1)発生源の対策推進 (2)工程内不良低減活動の継続推進 ・パレットの樹脂化推進	<<主な取組結果>> (1)工程内不良低減活動 ①朝市・夕市活動 ②ラインパトロール ③流出不良撲滅会議 (2)廃棄物分別活動による中間処理廃棄物のリサイクル化 <<評価>> ・全体的に総排出量が増加した。水害応援生産による、ライン立上げトライ品や工程内不良品によるものの影響が大きい。 次年度以降、環境負荷低減を考慮し、埋立、混合廃棄物の排出量低減に取り組む。	・埋立、混合廃棄物の排出量削減 (1)工程内不良低減活動の継続推進 (2)梱包用ラップ・紐の削減活動の継続 (3)産廃、サール用成形品のリサイクル推進 (1)発生源の対策推進 (2)工程内不良率低減活動の継続 (3)廃棄物分別とリサイクル化の継続推進 (1)発生源の対策推進 (2)工程内不良率低減活動の継続、刈取り (3)廃棄物分別の継続推進 (1)事務用品の再利用、紙資料の削減継続 (2)廃棄物分別とリサイクル化の継続推進 ・パレットの樹脂化推進
	①サーマル・PE・FAB 排出量低減				
	②埋立ごみ 排出量低減				
	③ウレタン・粉砕樹脂 排出量低減				
	④混合廃棄物 排出量低減				
	⑤一般ごみ 排出量低減				
(3)排水量		<<主な取組結果>> ・水使用量低減活動 節水型トイレ、センサー式水栓の導入推進 <<評価>> ・水害応援生産時の人員増加、稼働時間の増加に伴い、水の使用量は増加した。	・水使用量低減活動の継続 ・ムダ遣い防止の啓蒙活動検討 ・節水型設備の導入、継続使用	<<主な取組結果>> ・水使用量の低減 ①節水型トイレの導入 ②センサー式水栓の導入 <<評価>> ・水害生産応援時の人員・稼働時間の増加により使用量増加	・水使用量低減活動の推進 ・トイレ等改修時の節水型機器の導入 ・トイレ等改修時の節水型機器の導入
	①上水 使用量低減				
②工業用水 使用量低減					
(4)製品に関する項目	①製品不良の削減 (工程内不良低減)	・各工場における工程内不良低減活動の推進 朝市・夕市活動、ラインパトロール、不良撲滅会議	・工程内不良低減活動の継続推進	・各工場における工程内不良低減活動の推進 朝市・夕市活動、ラインパトロール、不良撲滅会議	・工程内不良低減活動の継続推進

※目標値については2014年度実績を基準として設定(2018年度は4%削減)したものであるが、2018年度においては全体的に目標値と実績に乖離している箇所が多くあり、次年度については目標値の見直しが必要である。

8. 2018年度 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容(足助工場、篠原工場)

項目	足助工場		篠原工場		
	取組結果と評価	次年度の取組内容	取組結果と評価	次年度の取組内容	
(1)二酸化炭素 排出量		<<主な取組結果>> (1)購入電力の低減 ①工場内空調(冷気・暖気)の保温対策(風除室設置) ②電力低減活動(啓蒙活動)の推進 (2)脱化石燃料化の推進 ①灯油使用ジェットヒーター→エアコンへ変更 <<評価>> ・水害応援生産による稼働時間増加により排出量増加。 工場出入口のシートシャッター2重化による風除化により、 冷暖房効率の向上効果、ジェットヒーター廃止の効果が見られる	・購入電力低減活動の強化 ・さらなる冷暖房効率向上検討 ・ジェットヒーターのエアコン化検討 ・アイドリングストップの啓蒙継続 ・給湯器の適正使用継続	<<主な取組結果>> (1)購入電力の低減 ・電力低減活動(啓蒙活動)の推進 <<評価>> ・成形機のヒーター電源投入については稼働前30分とし、 電力使用を最小限に抑えることができた。 照明器具の更新、ガソリン→バッテリーリフトへ更新等、 出来なかった事項を次年度は進めていく	・購入電力低減活動の強化 (1)成形機使用電力低減の検討 (2)照明設備の更新検討 (3)ヒーター・クーラーの適正使用継続 — (1)アイドリングストップの啓蒙継続 (2)リフトの更新(ガソリン→バッテリー) ・KYF材 変更評価方法の維持継続
	①購入電力 使用量低減				
	②灯油 使用量低減				
	③ガソリン 使用量低減				
④LPG 使用量低減					
(2)廃棄物排出量 (中間処理)		<<主な取組結果>> (1)工程内不良低減活動 ①朝市・夕市活動 ②ラインパトロール (2)廃棄物分別活動による中間処理廃棄物のリサイクル化 <<評価>> ・全体的に総排出量が増加した。真備水害応援による、 ライン立上げトライ品や工程内不良品によるものの影響が 大きい。 次年度以降、環境負荷低減を考慮し、埋立、混合廃棄物の 排出量低減に取り組む。	・混合廃棄物の排出量削減 (1)中間処理ごみのリサイクル化検討 (2)工程内不良率低減活動の継続推進 (1)排出源の対策推進 (2)工程内不良低減活動の継続推進 — (1)発生源の対策推進 (2)工程内不良低減活動の継続推進 ・分別方法の再検討 ・パレットの樹脂化推進	<<主な取組結果>> (1)工程内不良低減活動 ①朝市・夕市活動 ②ラインパトロール (2)廃棄物分別活動による中間処理廃棄物のリサイクル化 <<評価>> ・樹脂成形品が主であることもあり、他工場に比べ不良品の 発生も少なく排出量も少ないが、発生要因の潰し込みと 更なる分別方法の検討を行う必要がある	・混合廃棄物の排出量削減 (1)中間処理ごみのリサイクル化検討 (2)工程内不良率低減活動の継続推進 — — (1)発生源の対策推進 (2)工程内不良低減活動の継続推進 ・分別方法の再検討 —
	①サーマル・PE・FAB 排出量低減				
	②埋立ごみ 排出量低減				
	③ウレタン・粉砕樹脂 排出量低減				
	④混合廃棄物 排出量低減				
	⑤一般ごみ 排出量低減				
⑥木くず 排出量低減					
(3)排水量		<<主な取組結果>> ・上水使用量の低減、パッキン交換等 <<評価>> ・水害生産応援時の人員・稼働時間の増加により使用量増加	・水使用量低減活動の推進 ・トイレ等改修時の節水型機器の導入 —	<<主な取組結果>> ・上水使用量の低減 <<評価>> ・水害生産応援時の人員・稼働時間の増加により使用量増加	・上水使用量低減活動の推進 ・活動の更なるレベルアップ —
	①上水 使用量低減				
②工業用水 使用量低減					
(4)製品に関する 項目	①製品不良の削減 (工程内不良低減)	・各工場における工程内不良低減活動の推進 朝市・夕市活動、ラインパトロール、不良撲滅会議	・工程内不良低減活動の継続推進	・各工場における工程内不良低減活動の推進 朝市・夕市活動、ラインパトロール、不良撲滅会議	(1)発生源の対策推進 (2)工程内不良低減活動の継続推進

※目標値については2014年度実績を基準として設定(2018年度は4%削減)したものであるが、2018年度においては全体的に目標値と実績に乖離している箇所が多くあり、次年度については目標値の見直しが必要である。

9. 活動事例

(1)CO2排出量低減活動事例①

オフィス改装時 環境配慮機器の導入

LED照明器具

1号館



4号館



ガス給湯器→電気温水器

1号館・4号館



ビル用マルチエアコンによる個別空調

1号館



ハイブリッドファンによるムラの無い空調

1号館・4号館



9. 活動事例

(1)CO2排出量低減活動事例②

トイレ改装時 環境配慮機器の導入

センサー式LED照明器具

1課女子トイレ・1号館男女トイレ



エコカーの導入・継続使用

社有車の環境配慮車への切り替え

社有車 17台中 6台切替

燃料電池車:1台/ハイブリッド車:4台/アイドリングストップ車:1台



構内各所 LED照明化

豊田工場 中央階段照明



コンプレッサー室



コンプレッサー設備更新



9. 活動事例

(2) 廃棄物排出量低減活動事例

リサイクル率の向上

単品までの分解、分別による資源ごみ化



再利用の推進①

荷造り用ヒモの再利用



再利用の推進②

作業用手袋の再利用(汚れたら洗濯)



水銀使用製品産業廃棄物
保管管理レベルの向上

専用保管箱による廃蛍光灯の保管



(3) 水使用量低減活動事例

トイレ改装時 節水型機器の導入

節水型トイレ



センサー式水栓



9. 活動事例

(3) 工程内不良低減活動事例

再発防止活動

朝市・夕市活動(毎日開催)



- ・客先流出、出荷検査、工程内での発生不具合を当日の夕市で共有し、翌日の朝市で対策報告し、再発防止を図るとともに他部署への横展を実施。

未然防止活動

ラインパトロール



- ・製造部の職制による各ラインの標準作業遵守状況の確認、設備・治工具類の不備及びその他不具合発生要因の指摘、改善の実施。

慢性不具合対策

流出不良撲滅会議(1回/週)

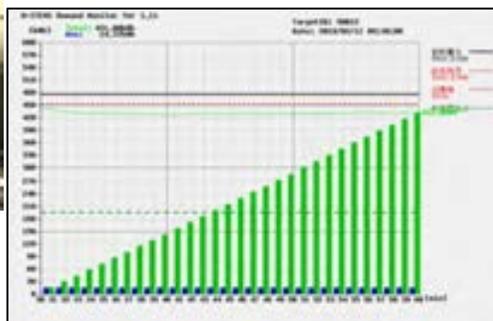


- ・流出不良撲滅を目指した真因対策実施と再発防止及び横展開(標準化)の実施
- ・品質意識向上、気付き力向上、問題解決力の向上を目指す。

9. 活動事例

(4)その他活動事例

電力監視システム導入



デマンドコントローラーによるエアコン制御にて
ピーク電力をカット

環境美化活動

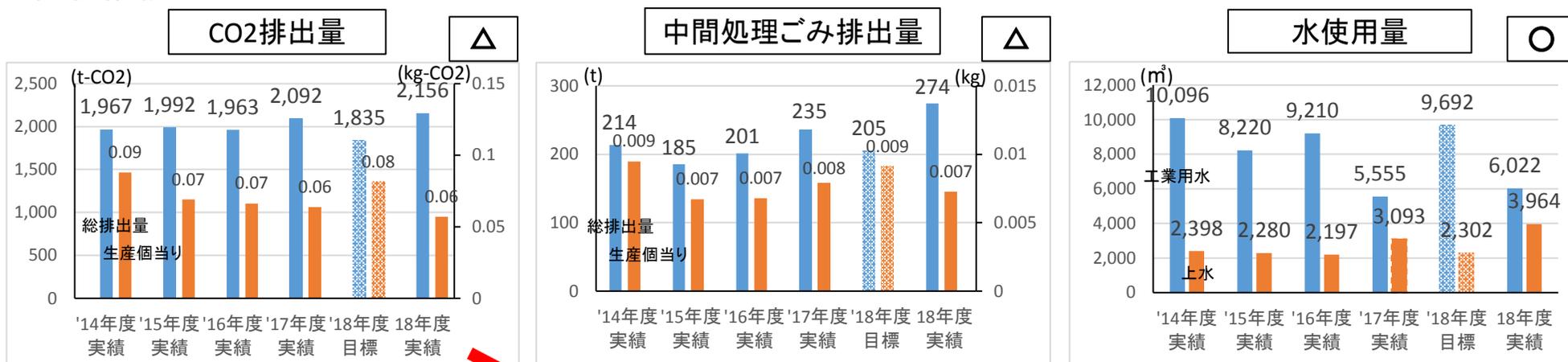
職制会 (5月)



職制会にて足助工場近隣小学校の校庭の
除草・清掃活動を実施。

10. 活動実績まとめ

(1) 実績推移

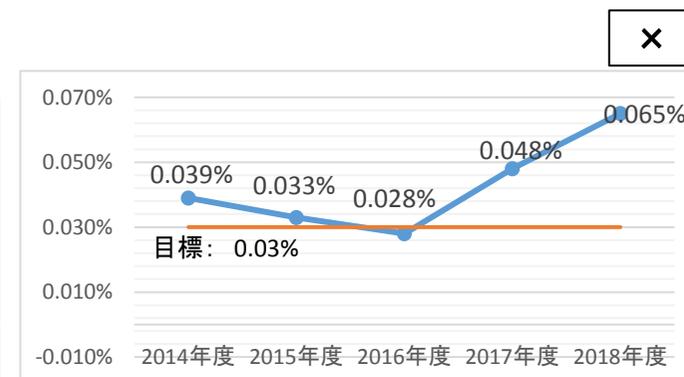


(2) 活動による効果例

事務所改装による照明器具更新(購入電力の低減)

	<改装前> 蛍光灯	<改装後> LED	'18年度 削減実績 (kg-CO2)
4号館事務所(18年7月~)	70本	43本	-3392
1号館事務所(19年2月~)	80本	40本	-507
		計)	-3899

(3) 工程内不良率低減



11. 環境関連法規等の遵守状況の確認

2019年5月31日

No.	環境関連法令等	内容	対象施設等	記録帳票	実施状況	実施日/確認日	評価	
1	環境基本法	事業活動に伴なう公害防止及び産廃物の適正管理、再資源利用、自然環境保全、環境負荷低減など行政への協力	全社	No.2以下の各法規	No.2以下の各法規遵守	2019年3月8日	○	
2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	(1)収集運搬・処分までの保管	・生活環境の保全上支障のない保管	リサイクルステーション	—	都度	2019年3月8日	○
		(2)産廃の保管基準	・周囲の囲い	リサイクルステーション	—	—	2019年3月8日	○
			・掲示板を設け必要事項の記載	リサイクルステーション	—	—	2019年3月8日	○
			・不浸透性材料での覆い	リサイクルステーション	—	—	2019年3月8日	○
		(3)収集運搬及び処理の委託基準処分に係る委託基準	・委託契約書の締結	—	委託契約書	—	2019年3月8日	○
		(4)マニフェスト制度	・許可証の写し等の確認	—	許可証	—	2019年3月8日	○
			・委託契約書の終了後、5年間保存	—	委託契約書	—	2019年3月8日	○
			・排出事業者はマニフェストを交付し、最終処分までを確認	—	マニフェスト	都度	2019年3月8日	○
			・マニフェスト交付状況報告(6月末)	—	報告書	1回/年	2018年6月28日	○
			・マニフェストの5年間保存	—	マニフェスト	—	2019年3月8日	○
(5)委託先実地確認	・委託先の現地確認(年1回)但し、優良認定業者は不要	—	—	1回/年	優良認定業者につき未実施	○		
3	家電リサイクル法	・管理票(家電リサイクル券)の写しの受領	—	管理票	都度	該当なし	○	
4	自動車リサイクル法	・リサイクル費用の負担と登録引取業者への引き渡し	車両	—	都度	該当なし	○	
5	県民の生活環境の保全等に関する条例(アイドリングストップ)	・駐車時のアイドリングストップ周知	車両	—	—	2019年3月8日	○	
6	騒音規制法	・敷地境界線測定 ・特定施設導入時30日前届出	機械プレスコンプレッサー等	届出書 計量証明書	測定:1回/年 届出:導入時	2018年6月4日	○	
7	振動規制法	・敷地境界線測定 ・特定施設導入時30日前届出	機械プレスコンプレッサー等	届出書 計量証明書	測定:1回/年 届出:導入時	2018年6月4日	○	
8	フロン排出抑制法	・修理、廃棄時の登録業者委託 引取り証明書の3年間保管 ・フロンガス漏れ点検	エアコン等	引取り証明書 点検表	都度 簡易点検: 1回/3か月	簡易点検実施 1回/3か月	○	
9	容器包装リサイクル法	消費者:分別排出 市町村:分別収集 事業者:再商品化義務、帳簿の記載5年間保管	—	届出書	1回/年	2018年2月13日	○	
10	PCB特措法	・法律の保管基準に従った適正保管、保管状況等の届け出(毎年) ・平成39年3月までの適正処理	—	届出書	1回/年	保管無し	○	
12	浄化槽法	・保守点検の実施 ・年一回の法定検査の実施	浄化槽 (篠原対象外)	保守点検記録	【本社・豊田工場】			
					保守点検 3回以上/年	4/21、6/2、8/4、 10/6、12/8、2/2	○	
					清掃 1回/年	18年4月21日 18年12月8日	○	
					法定点検 1回/年	法定点検実施 18年11月6日	○	
					【足助工場】			
					保守点検 3回以上/年	5/23、8/22、 11/21、2/20	○	
					清掃 1回/年	2019年2月20日	○	
法定点検 1回/年	法定点検実施 18年6月18日	○						
13	消防法	・指定可燃物及び危険物の指定数量管理等	屋内貯蔵所	点検・保管量 チェック表	1回/月	点検・保管量確認 1回/月	○	
14	水質汚濁防止法	・有害物質、油等の流出事故時は市へ届出(公共用水域、下水道流出、地下浸透時)	屋内貯蔵所等	—	都度	流出事故発生なし	○	
15	その他の要求事項	・取引先からのグリーン調達ガイドライン	—	環境方針	都度	2019年3月1日	○	

※環境関連法規について、現在違反はありません。また、過去3年間、環境に関する苦情、違反、訴訟等の指摘はありませんでした。
 ※遵守評価は年度末(2019年2月28日)に実施。

12. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 環境経営方針・環境経営目標達成状況

- ① 2018年7月西日本豪雨災害にて被災したグループ会社(六和工業 真備工場)に対する復旧活動および生産応援は各工場にておおよそ4ヶ月間行われ、それに伴ない、CO2排出量、廃棄物排出量、水使用量は大幅に増加した。
- ② 2018年度は環境経営目標に対し、CO2排出量および廃棄物排出量が総量で未達成となったが、原単位では削減できた。
- ③ 廃棄物排出量(中間処理ごみ)は、生産個当りでは年度目標を達成しているものの、総排出量は2015年度以降、増加傾向にある。
廃棄物の発生元、発生要因を把握できる仕組みをつくり、排出量削減に結び付ける必要がある。

2. 環境経営計画実施状況

- ① 社内の環境意識の向上、レベルアップを図り、目標達成に向けた
全社活動を展開すること。
- ② 特に廃棄物の削減、分別を強化すること。
- ③ 各工場、各部門での活動事例を全社で共有し、横展すること。

3. 環境関連法規遵守状況

環境関連法規の動向を注視し、確実に対応していくこと。

4. 2019年度に向けて、環境マネジメントシステム見直しの必要性の有無

- (1)環境経営方針 : 変更なし
- (2)環境経営目標 : 変更なし
- (3)環境経営計画 : 変更なし
- (4)環境経営体制 : 変更なし

※但し、ガイドライン2017年度版に準じた対応のこと

評価年月日 2019年5月31日

共和産業株式会社

代表者 大井田 良彦

環境管理責任者 廣瀬 誠